

3号倉庫（防護隊待機所含む）の屋根の破損に伴う措置について

1. 経緯

令和2年4月13日（月）、原子力科学研究所にて、防風の影響により3号倉庫（防護隊待機所含む）の屋根が破損し、建家内に雨水が浸入する事案が発生した。

危機管理課では、防護隊待機所内の原子力防災資機材が雨水に濡れる恐れがあると判断し、ビニールシートにて原子力防災資機材を養生した。

2. 時系列（4月13日）

14:20 第1研究棟付近にいた職員等から3号倉庫の屋根が剥がれ掛けているとの連絡が、危機管理課にあった。

14:25 連絡を受けて、危機管理課員が3号倉庫に向かった。

3号倉庫到着後、雨水の浸入を確認したため、ビニールシートにより原子力防災資機材の養生を実施した。

15:30 ビニール養生及び現場確認を完了した。

3. 本日（4/14）の措置

- ① 原子力防災資機材を緊急時対策所へ移動し、一時的に保管した。
- ② 原子力防災資機材の数量及び動作確認を実施した。

4. 今後のスケジュール

- ① 3号倉庫の屋根を補修する。（工事期間は今週契約後、1ヶ月程度）
- ② 補修工事完了後、直ちに原子力防災資機材を3号倉庫に移動し、保管する。

以上